

<p>【技術の名称】 奥村式杭頭余盛りレス工法 ー場所打ち鉄筋コンクリート杭の杭頭バキューム処理工法ー</p>	<p>性能証明番号：GBRC 性能証明 第03-14号 性能証明発効日：2004年1月13日</p> <p>【取得者】 株式会社 奥村組</p>
--	---

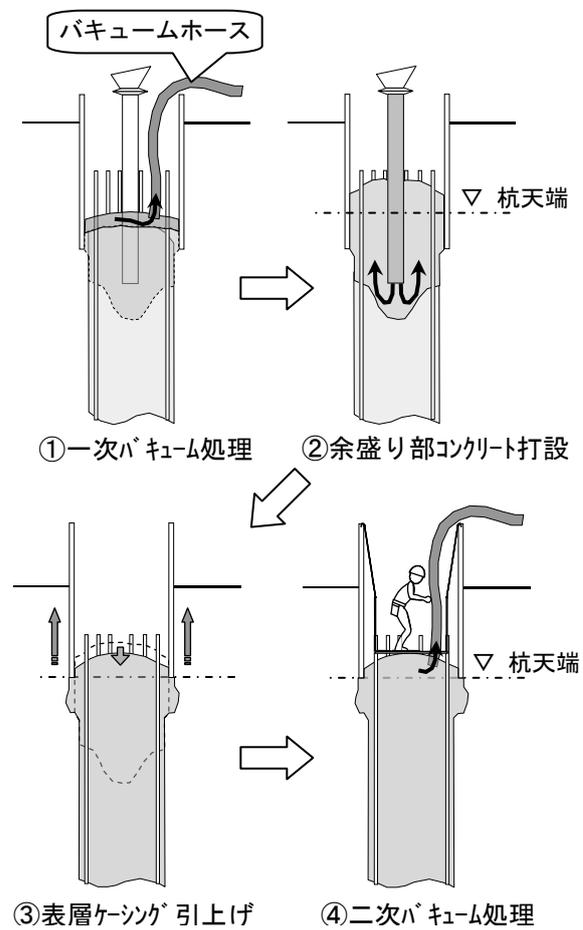
【技術の概要】
 本工法は、場所打ち鉄筋コンクリート杭の杭頭処理に当たって、打設後のまだ固まらないコンクリートをバキューム車で2度吸引処理する施工方法である。

- 本工法の特徴は以下のとおりである。
- ①打設中のコンクリートの天端部分が設定した高さにはほぼ達した時点で、トレミー管を残したまま表層のスライムや品質の低下したコンクリート部分を一度吸引取り（一次バキューム処理）、その後更にコンクリートを打ち上げることで、コンクリートの天端の高さを直接目視により管理することができる。
 - ②バキューム処理の際に作業員が杭天端の位置でバキューム車の筒先を操作するので、杭天端のコンクリートの状態を目視確認ことができ、スライムが含まれているなどの異常を早期に発見して取り除くことができる。
 - ③余盛り部分のコンクリートをまだ固まらない状態で吸引除去する（二次バキューム処理）ため、硬化後の余盛り部分の研り作業を省くことができ、振動や騒音を低減できる。

【技術開発の趣旨】
 場所打ち鉄筋コンクリート杭の天端部分のコンクリート強度を確保するために、従来、コンクリートを杭の天端位置よりも余盛りし、硬化後に研り取る工法が用いられてきたが、市街地等における工事では近隣に対する配慮から施工時の騒音や振動をできるだけ低減することが求められている。そのため、本工法によって研り作業を省き、杭頭処理の際の騒音や振動の低減を図るものである。

【性能証明の内容】
 本技術についての性能証明の内容は、以下の通りである。

申込者が提案する奥村式杭頭余盛りレス工法の施工マニュアルに基づいて鉄筋コンクリート杭が施工された場合、その杭頭部分の材齢91日の構造体コンクリート強度が設計基準強度を満足しているものと判断できる。



奥村式杭頭余盛りレス工法の施工手順

【本技術の問合せ先】
 株式会社 奥村組 担当者：起橋孝徳
 〒300-2612 茨城県つくば市大砂 387

E-mail : takanori.okihashi@okumuragumi.jp
 TEL : 029-865-1521 FAX : 029-865-1522